# **JOYO BANK NEWS LETTER**

2022年1月20日

### 「茨城県内主要企業の経営動向調査結果(2021年10~12月期 速報)」について

常陽銀行(頭取 笹島 律夫)の子会社である常陽産業研究所(代表取締役社長下山田 和司)は、このたび、「茨城県内主要企業の経営動向調査結果(2021年10~12月期速報)」をとりまとめましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

当社は、地域のシンクタンクとして各種調査研究および総合金融サービスの提供を通じ、 今後とも、地域の課題解決のためのさまざまな情報発信および取り組みを展開し、地域の 成長と活性化に貢献してまいります。

記

#### 1. 調査結果

茨城県内企業における全産業ベースの自社業況判断 DI は、前期比 13 ポイント上昇し、31 期振りに「好転」超へと転じました。業種別にみると、製造業は前期から概ね横ばいであった一方で、非製造業は前期比 19 ポイント上昇しています。

非製造業では、引き続き新型コロナの悪影響を受けている企業が多いものの、 感染状況の落ち着きや国の緊急事態宣言の解除などを受けて、景況の方向感が大幅に 上向いたとみられます。なお、調査結果の詳細は、別紙を参照してください。

#### 2. 調査の特徴

本調査は、2021年12月に茨城県内企業217社(製造業82社、非製造業135社)からの回答を取りまとめたものです。従業員300人以上の大企業から、30人未満の企業まで幅広く調査対象としています。

以上





# 概況 自社業況総合判断 DI が 31 期振りに「好転」超へ転換 — 感染状況の落ち着きなどを背景に、非製造業が大幅改善

#### 今回調査の概要

県内企業の景況感を表す自社業況総合判断 DI は、全産業ベースで「好転」超 1.4%と、前期(2021 年  $7\sim9$  月期)調査の「悪化」超 11.3%から 13 ポイント(以下、pt)上昇した(図表 1)。「好転」超 となるのは、前年同期の円高及び輸出減少の反動増や、消費増税( $5\%\rightarrow8\%$ )前の駆け込み需要の影響などがみられた 2014 年  $1\sim3$  月期以来、31 期(7 年 9 か月)振りである。

業種別にみると、製造業は「好転」超 12.5%と前期から概ね横ばいであった。内訳をみると、素材業種、加工業種が低下したものの、その他業種が上昇している(図表 2)。一方、非製造業は「悪化」超 5.2%と、依然として水面下(「悪化」超)の数値ながらも、前期から 19pt 上昇するなど大幅に改善した。内訳をみると、全ての業種で DI が改善している(図表 2)。なお、企業規模別でも、全ての区分で DI が改善した(図表 3)。

業績面の指標を業種別にみると、製造業では、生産判断 DI が「増加」超 11.0%と前期比 3pt 低下し、受注判断 DI は「増加」超 9.7%と前期から概ね横ばいだった(図表 4)。企業からは、「5G 関連の需要の伸びが大きく、受注増の状況が継続している」(電子部品・デバイス)、「半導体不足を背景に(半導体の)製造設備需要が堅調」(業務用機械等)など、一部の品目について需要の増加を指摘する声がある。一方で、「仕向け先の自動車メーカーによっては半導体や部品不足による減産が継続しており、当社の操業率も上がらない。また、鋼板が断続的に値上がりしており、取引先との価格交渉を継続している」(金属製品)、「7月以降、主要原料と LPG の仕入価格が大幅に上昇している。販売価格へ転嫁できず、採算が急激に悪化している」(食料品)といった声も多く聞かれた。製造業の景況感は、昨年同期に比べると持ち直しているものの、世界的な供給制約や物価上昇などの影響を受けて、足もとで回復が足踏みしていると考えられる。

一方、非製造業では、売上判断 DI が「増加」超 0.8%と前期比 23pt 上昇した(図表 4)。 非製造業の売上判断 DI が「増加」超となるのは、2014 年 1~3 月期以来、31 期(7 年 9 か月)振りとなる。企業からは、新型コロナの悪影響を指摘する声も少なくなかったものの、「緊急事態宣言が解除され、10 月から客数・売上が回復基調にある。リベンジ消費につながる高額品の動きに大きな変化はないが、旅行需要につながる衣料品・服飾雑貨の動きは顕著に回復している」(小売業)、「感染状況が落ち着く中、行政の宿泊補助もあり順調に回復している」(宿泊業)、「緊急事態宣言の解除に伴って取引先が営業を再開し、売上高が復調してきた」(清掃・施設管理業)など、業況の改善に関する声が目立った。非製造業では、対面型サービス関連の業種など、引き続き新型コロナの悪影響を受けている企業が多いものの、感染状況の落ち着きや国の緊急事態宣言(8 月 20 日~9 月 30 日)の解除などを受けて、景況感が大幅に上向いたとみられる(図表 2)。

先行き (2022年1~3月期) の自社業況総合判断 DI は、全産業で「悪化」超 1.9%と今期から 3pt 低下する見通しとなっている (図表 1)。業種別にみると、非製造業は「悪化」超 5.2%と今期と 横ばいであるものの、製造業は「好転」超 3.8%と 9pt 低下する見込みだ。

製造業からは、「半導体不足や部品供給難に加え、オミクロン株感染拡大による先行き不透明感がある」(生産用機械)、「原材料相場の不透明感や入荷の長期化傾向から原材料を早期に確保する必要があり、原材料の在庫が増加する」(電気機械)、「主要原料の高値が続く見通しだが、22 年 1~3 月期中の製品価格改定が進まず、通期で赤字となる見通し」(食料品)など、感染状況の悪化に伴う受発注の停滞、原材料価格等の上昇に伴う収益の圧迫などを懸念する声が上がっている。

今回調査後の22年1月以降、県内外で新型コロナの感染が再拡大しつつある。先行きは、 感染状況の推移とそれに伴う感染対策や経済対策等の動向、また、世界的な供給制約や、資源・ 資材価格、エネルギー価格の上昇などが県内生産に与える影響等を注視していく必要がある。

#### <図表 1>自社業況総合判断 DI の推移

(前年同期比・%ポイント)

		202	0年			2021年			2022年
	業種	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	前回調査 時点の予測	1~3月期 予測
	全産業	▲ 53.6	▲ 41.8	▲ 24.5	▲ 5.0	▲ 11.3	1.4	▲ 11.1	▲ 1.9
ľ	製造業	▲ 63.7	▲ 43.9	▲ 18.0	6.1	9.6	12.5	2.1	3.8
	非製造業	▲ 45.4	▲ 40.0	▲ 29.4	▲ 12.7	▲ 24.6	▲ 5.2	▲ 19.7	▲ 5.2

※自社業況総合判断DI:「好転」回答企業割合一「悪化」回答企業割合

#### <図表 2>自社業況総合判断 DI の推移(業種別)

(前年同期比・%ポイント)

	202	0年		202	1年		2022年
	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期 予測
全産業	▲ 53.6	▲ 41.8	▲ 24.5	▲ 5.0	▲ 11.3	1.4	▲ 1.9
製造業	▲ 63.7	<b>▲</b> 43.9	▲ 18.0	6.1	9.6	12.5	3.8
素材業種	▲ 72.2	▲ 75.0	▲ 38.5	57.1	16.6	14.3	▲ 7.2
加工業種	▲ 77.6	▲ 23.5	▲ 7.8	23.9	40.0	36.1	31.4
その他業種	▲ 45.7	▲ 57.5	▲ 25.0	▲ 34.2	▲ 29.7	▲ 16.7	▲ 22.6
非製造業	▲ 45.4	▲ 40.0	▲ 29.4	▲ 12.7	▲ 24.6	▲ 5.2	▲ 5.2
建設	▲ 29.5	▲ 24.2	<b>▲</b> 6.9	▲ 29.4	<b>▲</b> 9.0	3.4	▲ 3.4
卸売	▲ 42.3	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 20.8	▲ 28.0	▲ 16.7	▲ 12.5
小売	▲ 54.6	▲ 36.3	▲ 38.1	▲ 17.7	▲ 39.1	▲ 33.3	▲ 16.6
運輸·倉庫	▲ 60.0	▲ 53.8	▲ 46.1	▲ 6.3	<b>▲</b> 47.1	0.0	▲ 16.7
サービス他	▲ 51.9	▲ 43.1	▲ 30.9	2.0	▲ 18.8	3.9	3.9

※自社業況総合判断DI:「好転」回答企業割合一「悪化」回答企業割合

# <図表 3>自社業況総合判断 DI の推移(企業規模別)

(前年同期比・%ポイント)

	202	0年		202	1年		2022年
従業員数	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期 予測
全産業	▲ 53.6	<b>▲</b> 41.8	▲ 24.5	▲ 5.0	▲ 11.3	1.4	▲ 1.9
30人未満	▲ 51.2	▲ 43.2	▲ 34.7	▲ 29.6	▲ 28.6	▲ 14.1	▲ 6.4
30~99人	▲ 57.5	▲ 44.4	▲ 21.6	4.8	▲ 3.6	8.5	▲ 5.7
100~299人	▲ 62.5	▲ 42.2	▲ 23.4	14.3	▲ 5.0	10.8	5.4
300人以上	▲ 40.6	▲ 33.3	▲ 3.9	20.0	14.3	15.4	15.4

※自社業況総合判断DI:「好転」回答企業割合一「悪化」回答企業割合

# <図表 4>自社業況総合判断以外の主な DI の推移

(前年同期比、前期比・%ポイント)

		202	0年		202		}	2022年
項目	業種	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期 予測
	全産業	▲ 79.0	▲ 75.1	▲ 53.3	期 4~6月期 7~9月期 10~12月期	3.7		
国内景気判断DI (「好転」一「悪化」)	製造業	▲ 83.1	▲ 75.7	▲ 40.8	▲ 3.1	<b>▲</b> 4.3	17.2	1~3月期 予測 3.7 13.6 ▲ 2.2 11.1 12.5 1.9 12.5 ▲ 4.8 52.7 66.7 43.9 22.3 23.5 21.6 ▲ 6.6 ▲ 4.9
(, \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	非製造業	▲ 75.7	▲ 74.6	▲ 62.6	▲ 29.1	▲ 30.4	▲ 2.2	▲ 2.2
生産DI (「増加」ー「減少」)	製造業	▲ 55.6	▲ 41.1	▲ 20.2	10.0	14.2	11.0	11.1
<b>受注DI</b> (「増加」ー「減少」)	製造業	▲ 58.1	▲ 39.7	▲ 19.2	10.0	10.7	9.7	12.5
± 1 (111#) 5•	全産業	▲ 46.4	▲ 35.1	▲ 19.3	2.1	▲ 8.2	6.3	1.9
売上(出荷)DI (「増加」ー「減少」)	製造業	▲ 55.6	▲ 38.3	▲ 20.6	11.1	12.9	14.8	12.5
(1787)	非製造業	▲ 38.8	▲ 32.2	▲ 18.3	<b>▲</b> 4.4	▲ 22.0	0.8	1.9 12.5 <b>A</b> 4.8 52.7
// 7 /T-400*	全産業	5.1	10.8	19.5	34.3	40.0	54.0	52.7
仕入価格DI (「上昇」ー「低下」)	製造業	1.6	13.1	27.0	42.4	55.3	71.6	66.7
( == 51 3 1 3 / 3 /	非製造業	7.9	9.0	13.6	28.4	29.4	43.1	43.9
□□ == /==±# > •	全産業	▲ 8.7	▲ 3.5	▲ 0.5	7.4	8.7	17.0	22.3
販売価格DI (「上昇」ー「低下」)	製造業	▲ 12.1	▲ 1.9	1.0	5.0	11.7	17.3	23.5
( = )   -   -   -   -	非製造業	▲ 5.9	▲ 5.1	▲ 1.7	9.0	6.6	16.8	21.6
(T )   T   1	全産業	<b>▲</b> 46.7	▲ 32.4	▲ 18.5	▲ 8.0	▲ 11.1	▲ 5.1	▲ 6.6
経常利益DI (「増加」ー「減少」)	製造業	▲ 54.0	▲ 38.1	▲ 19.2	0.0	2.2	▲ 1.2	<b>▲</b> 4.9
(1787 - 1787 - 17	非製造業	▲ 40.8	▲ 27.6	▲ 18.0	▲ 13.5	▲ 19.7	▲ 7.4	<b>▲</b> 7.6

※DIは前年同期比、ただし仕入価格・販売価格は前期比

# 株式会社 常陽産業研究所

													株式会社 常陽産業研究所								
	百日		2018			2019				2020						2021		2022	Harr YO		
	項目	業種	4~6	7 <b>~</b> 9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7 <b>~</b> 9	10~12	前期比)	前期子訓	1~3 予想	<b> </b>
		全産業	0.8	1.6	▲ 0.6	<b>10.9</b>	<b>▲</b> 22.2	▲ 19.4	<b>▲</b> 27.5	<b>▲</b> 61.1	▲ 90.4	▲ 79.0	▲ 75.1	▲ 53.3	▲ 18.4	▲ 20.2	5.0	(25.2)	削朔了測 ▲ 10.8	3.7	制法業け前期と20ポイントト見し
国内景気	国内景気判断DI	製造業	4.4	2.8		▲ 10.9	▲ 25.2	▲ 29.1	<b>▲</b> 29.9	<b>▲</b> 58.1	▲ 90.4 ▲ 90.6	▲ 83.1	▲ 75.7	<b>▲</b> 40.8	<b>▲</b> 3.1	<b>▲</b> 4.3	17.2	(21.5)		12.6	非製造業は同28ポイント上昇した。
四八京以	(「好転」一「悪化」)				2.8														3.2	13.0	先行きは、製造業で4ポイント低下し、 非行きは、製造業は がら8ポイント上昇し、 非抗行きは、製造業は 4ポイント上昇 5、 非抗行き 3 ポイント 4 は 1 に 5 ポイント 5 表 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1
		非製造業	<b>▲</b> 1.9	0.9	▲ 3.2	▲ 9.9		▲ 12.5	▲ 25.5	<b>▲</b> 64.0	▲ 90.3	▲ 75.7	<b>▲</b> 74.6	▲ 62.6	▲ 29.1	▲ 30.4	▲ 2.2	(28.2)	▲ 19.8	▲ 2.2	
W m = 4	業界景気判断DI	全産業	<b>▲</b> 11.2	<b>▲</b> 9.5	▲ 15.8	▲ 21.0		▲ 23.5	▲ 33.5	<b>44.8</b>	▲ 73.7	▲ 59.1	▲ 49.3	▲ 31.4	▲ 9.1	▲ 16.0	<b>▲</b> 4.2	(11.8)	▲ 10.6	<b>▲</b> 1.9	
業界景気	(「好転」一「悪化」)	製造業	<b>▲</b> 4.4	0.7	▲ 6.8	▲ 23.4	▲ 22.4	▲ 33.9	▲ 36.4	<b>▲</b> 47.6	<b>▲</b> 76.9	▲ 64.5	▲ 51.4	▲ 25.0	4.0	2.2	10.0	(7.8)	▲ 1.1	8.8	先行きは製造業は概ね横ばい、
		非製造業	<b>▲</b> 16.3	<b>▲</b> 16.1	▲ 22.6	▲ 19.4	<b>▲</b> 27.0	<b>▲</b> 16.1	▲ 31.1	<b>▲</b> 42.4	<b>▲</b> 71.2	▲ 54.6	<b>▲</b> 47.7	▲ 36.4	▲ 18.3	<b>▲</b> 27.6	▲ 12.6	(15.0)	<b>▲</b> 16.9	▲ 8.2	非製造業は4ポイント上昇する見通し。 
	自社業況総合判断DI	全産業	▲ 5.7	<b>▲</b> 7.8	<b>▲</b> 11.9	▲ 14.1	▲ 24.6	▲ 20.1	▲ 31.4	<b>▲</b> 42.6	<b>▲</b> 67.1	▲ 53.6	<b>▲</b> 41.8	<b>▲</b> 24.5	▲ 5.0	<b>▲</b> 11.3	1.4	(12.7)	<b>▲</b> 11.1	<b>▲</b> 1.9	
自社業況	(「好転」一「悪化」)	製造業	▲ 0.6	0.7	<b>▲</b> 4.8	<b>▲</b> 16.0	▲ 24.1	▲ 33.7	▲ 37.4	<b>▲</b> 43.2	<b>▲</b> 70.1	▲ 63.7	<b>▲</b> 43.9	▲ 18.0	6.1	9.6	12.5	(2.9)	2.1	3.8	
		非製造業	▲ 9.4	▲ 13.3	▲ 17.4	▲ 12.7	▲ 25.0	▲ 10.4	▲ 26.7	<b>▲</b> 42.0	<b>▲</b> 64.7	▲ 45.4	<b>▲</b> 40.0	▲ 29.4	▲ 12.7	<b>▲</b> 24.6	▲ 5.2	(19.4)	▲ 19.7	▲ 5.2	非製造業は横ばいとなる見通し。
<b>-</b>	+ - /	全産業	<b>▲</b> 7.8	<b>▲</b> 7.8	▲ 3.6	▲ 13.3	▲ 16.1	▲ 14.4	▲ 25.0	▲ 35.0	<b>▲</b> 62.4	▲ 46.4	▲ 35.1	▲ 19.3	2.1	▲ 8.2	6.3	(14.5)	<b>▲</b> 4.9	1.9	
売上 (出荷)	売上(出荷)DI (「増加」ー「減少」)	製造業	0.7	2.8	10.3	<b>4</b> 9.7	<b>▲</b> 14.7	<b>▲</b> 24.7	▲ 22.4	▲ 34.1	<b>▲</b> 64.1	▲ 55.6	▲ 38.3	▲ 20.6	11.1	12.9	14.8	(1.9)	8.0	12.5	
(14)	(· 2000) · //0, 2 1/	非製造業	<b>▲</b> 14.0	<b>▲</b> 14.7	▲ 14.2	▲ 15.9	<b>▲</b> 17.2	▲ 6.8	▲ 27.2	▲ 35.8	▲ 60.9	▲ 38.8	▲ 32.2	▲ 18.3	<b>▲</b> 4.4	▲ 22.0	0.8	(22.8)	▲ 13.2	<b>4.8</b>	
/1 -4-	生産DI	4-11 245-246	0.0	2.8	7.5	<b>▲</b> 6.6	<b>▲</b> 11.7	▲ 20.0	▲ 20.6	▲ 33.6	<b>▲</b> 62.1	▲ 55.6	<b>▲</b> 41.1	▲ 20.2	10.0	14.2	11.0	(▲3.2)	4.5	11.1	前期比3ポイント低下した。
生産	(「増加」一「減少」)	製造業																			
	受注DI	ated a the alle	▲ 0.7	4.9	9.6	<b>▲</b> 13.3	<b>▲</b> 15.5	▲ 25.5	▲ 23.4	▲ 36.6	<b>▲</b> 64.7	▲ 58.1	▲ 39.7	▲ 19.2	10.0	10.7	9.7	(▲1.0)	3.3	12.5	前期から概ね様げいとなった
受注	(「増加」一「減少」)	製造業																			
	———— 操業率DI	_	<b>▲</b> 1.3	6.4	8.9	▲ 3.0	<b>▲</b> 11.0	<b>▲</b> 15.5	▲ 23.5	<b>▲</b> 29.3	▲ 54.4	▲ 53.2	▲ 32.7	▲ 13.2	13.3	10.9	6.1	(▲4.8)	4.5	8.6	前期は5ポインル低下した
操業率	(「増加」ー「減少」)	製造業		0.1	0.0	_ 5.5			_ 20.0	_ 20.0	_ 0	_ 55.2	_ 52.7		10.0	10.0	<b>5</b>	(=,		0.0	
	 製品在庫DI		11.4	2.1	3.4	11.1	10.2	12.3	14.5	10.9	24.3	29.0	15.8	10.2	18.0	8.8	3.7	(▲5.1)	0.0	▲ 5.0	<b>新知い5ポハルば下! た</b>
在庫	(「過剰」ー「不足」)	製造業		2	0.1		10.2	12.0	1 1.0	10.0	21.0	20.0	10.0	10.2	10.0	0.0	0.7	(=0.1)	0.0	_ 0.0	
		全産業	6.5	7.3	4.2	3.6	3.4	0.8	0.9	▲ 5.5	<b>▲</b> 15.5	▲ 8.7	▲ 3.5	▲ 0.5	7.4	8.7	17.0	(8.3)	12.9	22.3	制体要は前期になっていた目
販売価格	販売価格DI	製造業	9.5	7.8	8.3	0.0	0.9	▲ 1.9	0.9	▲ 7.3	▲ 17.4	▲ 12.1	<b>▲</b> 3.3	1.0	5.0	11.7	17.3	(5.6)	16.5	23.5	非製造業は同10ポイント上昇した。
別のこれで	(「上昇」ー「低下」)								<b>4</b> ./												
		非製造業	4.3	6.9	1.0	6.0		2.8	5.5	▲ 3.9	<b>▲</b> 14.1	▲ 5.9	▲ 5.1	<b>▲</b> 1.7	9.0	6.6	16.8	(10.2)	10.5	21.6	
// 3 / <del>T</del> + <del>/</del>	仕入価格DI	全産業	36.6	33.9	34.2	30.1	21.8	19.8	21.6	9.1	▲ 5.4	5.1	10.8	19.5	34.3	40.0	54.0	(14.0)	41.4	52.7	
仕入価格	(「上昇」一「低下」)	製造業	45.0	43.3	42.5	40.9	14.7	20.0	11.3	4.9	<b>▲</b> 9.5	1.6	13.1	27.0	42.4	55.3	71.6	(16.3)	52.7	66.7	先行きは、製造業は5ポイント低下、
		非製造業	30.4	28.0	27.9	22.8	27.9	19.6	30.2	13.1	<b>▲</b> 2.1	7.9	9.0	13.6	28.4	29.4	43.1	(13.7)	33.8	43.9	
	経常利益DI	全産業	▲ 11.0	▲ 19.2	▲ 19.0			▲ 28.5	▲ 33.3	▲ 39.9	▲ 58.9	▲ 46.7	▲ 32.4	▲ 18.5	▲ 8.0	<b>▲</b> 11.1	▲ 5.1	(6.0)	<b>▲</b> 14.7	<b>▲</b> 6.6	
経常利益	(「増加」一「減少」)	製造業	▲ 5.1	<b>▲</b> 7.0	▲ 10.2				▲ 34.3	<b>▲</b> 44.7	<b>▲</b> 62.6	▲ 54.0		▲ 19.2	0.0	2.2	▲ 1.2	(▲3.4)	<b>▲</b> 4.8	<b>4.9</b>	先行きは、製造業は4ポイント低下、
		非製造業	▲ 15.4	▲ 27.1	▲ 25.7	▲ 20.8	<b>▲</b> 24.6	▲ 22.8	▲ 32.6	▲ 35.5	▲ 56.0	▲ 40.8			▲ 13.5	<b>▲</b> 19.7	▲ 7.4	(12.3)	▲ 21.2	<b>▲</b> 7.6	非製造業は横這いとなる見通し。 
	雇用判断DI	全産業	▲ 2.7	▲ 3.3	▲ 2.4	▲ 2.6	0.0	1.2	▲ 3.4	<b>▲</b> 4.3	▲ 3.0	▲ 13.0	▲ 6.0	▲ 5.7	1.6	<b>▲</b> 7.1	▲ 0.5	(6.6)	▲ 0.4	7.0	200 NO. 111 MISSION 1 2 1 2 1 0 1
雇用	(「増加」一「減少」)	製造業	▲ 0.7	0.0	8.2	3.0	▲ 0.9	1.8	3.8	<b>▲</b> 4.8	1.7	▲ 16.1	<b>▲</b> 7.6	▲ 3.0	2.0	▲ 5.3	2.5	(7.8)	3.4	11.1	非製造業は同19ポイント上昇した。 先行製造業は9ポイント低下、 製造業は横ばいとなる見通し。 製造業は前期から概ね横ばい、 非製造業は66ポイント低下する見通し。 前期た3ポイント低下する見通し。 前期できば、製造業はでいたである見通し。 前期できば、大きなる見通し。 前期できば、大きなる見通し。 前期できば、大きなる見通し。 前期できばりポイントとよる見通し。 前期できばりポイントとよる見通し。 前期できばりポイントとよる見通し。 前期できばりポイント上昇した。 先行もは概和横ばいとなる見通し。 前期できばりポイント上昇した。 大手製造きば、業で5ポイント上昇した。 大手製造きは、製造者は、製造者は、製造者は、製造者は、製造者は、製造者は、製造者は、製造者
		非製造業	<b>▲</b> 4.2	<b>▲</b> 5.5	▲ 10.6	<b>▲</b> 6.4	0.8	0.7	<b>▲</b> 9.0	▲ 3.7	<b>▲</b> 6.7	▲ 10.5	<b>▲</b> 4.8	<b>▲</b> 7.7	1.4	▲ 8.3	▲ 2.2	(6.1)	<b>▲</b> 2.8	4.5	非製造業は7ポイント上昇する見通し。
	Mr. A. Allia dulum	全産業	▲ 3.2	<b>▲</b> 6.1	▲ 3.0	▲ 8.3	▲ 0.8	<b>▲</b> 6.2	<b>▲</b> 7.6	<b>▲</b> 9.7	▲ 21.7	▲ 15.2	▲ 9.8	<b>▲</b> 4.5	▲ 6.1	▲ 3.7	▲ 0.4	(3.3)	▲ 8.8	▲ 5.3	
資金繰り	資金繰り判断DI (「楽になった」ー「苦しくなった」)	製造業	▲ 5.7	<b>▲</b> 4.3	▲ 0.7	<b>▲</b> 6.0	▲ 0.9	<b>▲</b> 7.4	<b>▲</b> 4.9	▲ 8.1	▲ 27.0	▲ 19.4	▲ 11.4	<b>▲</b> 4.1	<b>▲</b> 6.0	▲ 5.3	<b>▲</b> 4.9	(0.4)	▲ 5.6	▲ 8.9	
	( NOTE OF THE OWN NOTE )	非製造業	▲ 1.4	<b>▲</b> 7.4	<b>▲</b> 4.8	▲ 9.8	▲ 0.8	▲ 5.2	▲ 9.9	<b>▲</b> 11.2	<b>▲</b> 17.9	▲ 11.8	▲ 8.4	<b>▲</b> 4.7	▲ 6.3	▲ 2.8	2.3	(5.1)	▲ 11.1	▲ 3.1	
		全産業・実績	58.1	'	55.1		62.2		60.2	,	52.8		54.4		53.3	·	57.6	(4.3)	55.7	58.5	当初計画(6か月前計画)と比べると、
		(6か月前計画)	(55.9)		(56.2)		(53.6)		(55.8)		(55.8)		(49.4)		(51.1)		(55.7)				製造業は概ね横ばい、
設備投資	設備投資	製造業•実績	64.6		63.0		68.8		63.0		61.5		57.9		62.0		63.4	(1.4)	61.0	62.2	前期実績(21年1~6月期)と比べると、
<b>以闸</b> 仅具	実施割合	(6か月前計画)	(62.1)		(62.0)		(57.5)		(64.3)		(64.3)		(53.8)		(49.5)		(61.0)				製造業は概ね横ばい、 非製造業は7ポイント上昇した。
		非製造業•実績	53.3		48.9		56.9		58.0		46.1		51.5		47.2		54.1	(6.9)	52.1	56.3	先行きは、製造業は概ね横ばい、
		(6か月前計画)	(51.3)		(51.9)		(50.5)		(48.9)		(48.9)		(46.1)		(52.3)		(52.1)				非製造業も概ね横ばいとなる見通し。
									-												

<sup>&</sup>lt;調査期日> 2021年12月中旬時点(回答受付:12月1日~21日)

<sup>&</sup>lt;調査対象> 486社

<sup>&</sup>lt;有効回答> 217社(製造業82社、非製造業135社)